



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 株式会社ニッピ 上場取引所 大
 コード番号 7932 URL <http://www.nippi-inc.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)伊藤 隆男
 問合せ先責任者 (役職名)総務担当常務取締役 (氏名)吉原 道博 (TEL)03(3888)6651
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	29,941	3.2	1,907	△2.5	1,623	△0.9	1,527	63.9
23年3月期第3四半期	29,014	2.4	1,956	19.4	1,639	37.8	932	26.5

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,023百万円(161.8%) 23年3月期第3四半期 773百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	135 40	—
23年3月期第3四半期	82 62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	62,140	17,508	27.5
23年3月期	60,590	15,642	25.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 17,112百万円 23年3月期 15,255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0 00	—	7 00	7 00
24年3月期	—	0 00	—		
24年3月期(予想)				7 00	7 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,800	4.2	2,500	12.8	2,000	19.7	1,700	142.0	150 67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (日皮胶原蛋白(唐山)有限公司)、除外 1社 ()

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	12,000,000株	23年3月期	12,000,000株
24年3月期3Q	718,193株	23年3月期	717,199株
24年3月期3Q	11,282,689株	23年3月期3Q	11,283,919株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間に於ける我が国経済は、一部に東日本大震災からの復興に向けた動きが見え始め、やや景気の回復傾向が見えてきましたが、ギリシャから始まったユーロ不安がまだ解消される見込みが見えず、先行きの見通しが立てにくい状態で推移いたしました。

このような経済情勢におきまして、当社グループは、東日本大震災による生産設備等への直接的な被害もなく、比較的順調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ926百万円増加し、29,941百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。

売上総利益は、389百万円増加し、7,317百万円（同5.6%増）となったものの、広告宣伝費や減価償却費の増加により営業利益は、48百万円減少し、1,907百万円（同2.5%減）となり、経常利益は、15百万円減少し、1,623百万円（同0.9%減）となりました。

なお、災害義援金などの特別損失の計上及び法人税の税率が引き下げられたことなどによる税金費用の調整をしたことにより四半期純利益は、1,527百万円（同63.9%増）となりました。

また、皮革関連事業の株式会社NP越谷加工は、平成23年12月31日付で、皮革関連事業の株式会社ニッピ・フジタへ同社の事業を譲渡して清算手続きを開始いたしました。

なお、この事業譲渡は、連結子会社間の事業集約であり連結経営成績に与える影響は軽微であります。

セグメントの状況につきましては以下の通りであります。

① コラーゲン・ケーシング事業

コラーゲン・ケーシングは、世界的な天然腸の品薄状態により国内の需要が好調に推移しましたが、原料価格等の値上がりの影響がありました。一方、海外向けの売上は減少しております。

この結果、売上高は、6,213百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は、1,204百万円（同8.0%減）となりました。

② ゼラチン関連事業

ペプタイドは、健康食品用の需要拡大により順調に推移しました。ゼラチンは、カプセル用が堅調に推移しましたが、一部食品用が低迷いたしました。一方、円高による原価低減効果もあり全体では順調に推移いたしました。

この結果、売上高は、6,636百万円（同3.5%減）、営業利益は、709百万円（同22.7%増）となりました。

③ 化粧品関連事業

コラーゲン化粧品は、積極的な販売広告活動により新規顧客の開拓を積極的に進め、コラーゲン化粧品及び「コラーゲン100」を中心とした健康食品がともに増加しました。

この結果、売上高は、3,537百万円（同7.1%増）、営業利益は、700百万円（同5.2%増）となりました。

④ 皮革関連事業

自動車用革は、落ち込んでいた自動車部品会社の生産回復により前年並みとなりました。また、紳士・婦人用の靴用革は、国内の景気の持ち直し傾向から順調に推移しました。

この結果、売上高は、7,834百万円（同8.5%増）、営業利益は、188百万円（同47.3%増）となりました。

⑤ 賃貸・不動産事業

賃貸・不動産部門は、再開発を進めている東京都足立区及び大阪市浪速区の土地で引き続き暫定事業として賃貸事業を継続しております。

この結果、売上高は、325百万円（同9.4%減）、営業利益は、144百万円（同28.7%減）となりました。

⑥ 食品その他事業

有機農産物、肥料、イタリア食材の売上は、国内景気の持ち直し傾向により順調に推移しました。また、為替が円高傾向に推移したため原価低減効果がありました。一方、リンカー、化成品、BSE検査キットなどは、ほぼ横ばいとなりました。

この結果、売上高は、5,393百万円（同11.3%増）、営業利益は、188百万円（同83.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は62,140百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,550百万円の増加となりました。

① 資産の部

流動資産は、受取手形及び売掛金、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末と比べ1,033百万円増加し、19,438百万円となりました。

固定資産は、東京都足立区の土地再開発及び新たに中国に設立した日皮胶原蛋白(唐山)有限公司を連結対象会社としたことなどにより、有形固定資産が1,655百万円、無形固定資産が97百万円増加しました。また、同社に対する出資金等を相殺消去したことなどにより投資その他資産が1,267百万円減少し、前連結会計年度末と比べて484百万円増加し、42,637百万円となりました。

② 負債の部

流動負債は、東京都足立区の土地再開発等による設備関係支払手形や建設未払金が減少しましたが、短期借入金などの増加により前連結会計年度末と比べ633百万円増加し、21,986百万円となりました。

固定負債は、預かり保証金等を返却しましたが、長期借入金が増加したことにより、前連結会計年度末と比べ948百万円減少し、22,646百万円となりました。

③ 純資産の部

純資産は、利益剰余金、土地再評価差額金、少数株主持分が増加しましたが、その他有価証券評価差額金、繰延ヘッジ損益、為替換算調整勘定が減少し、前連結会計年度末と比べ1,865百万円増加し、17,508百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、本日(平成24年2月3日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、開業した日皮胶原蛋白(唐山)有限公司を連結の範囲に含めておりません。

また、連結子会社の株式会社NP越谷加工は、平成23年12月28日に臨時株主総会を開催し、平成23年12月31日付で連結子会社の株式会社ニッピ・フジタへ事業を譲渡し、清算手続きを開始しております。

なお、この事業譲渡は、連結子会社間の事業集約であり連結経営成績に与える影響は軽微であります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,004	4,190
受取手形及び売掛金	7,500	8,713
商品及び製品	4,390	4,318
仕掛品	807	987
原材料及び貯蔵品	324	358
未収還付法人税等	3	2
未収消費税等	192	86
繰延税金資産	489	448
その他	741	373
貸倒引当金	△50	△40
流動資産合計	18,404	19,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,903	7,589
機械装置及び運搬具(純額)	353	650
土地	24,943	24,943
建設仮勘定	4,737	5,463
リース資産(純額)	188	156
その他(純額)	152	130
有形固定資産合計	37,279	38,934
無形固定資産		
リース資産	56	58
その他	4	100
無形固定資産合計	61	159
投資その他の資産		
投資有価証券	2,770	2,887
長期貸付金	731	297
繰延税金資産	49	45
破産更生債権等	1,452	1,432
その他	1,345	446
投資損失引当金	△27	△39
貸倒引当金	△1,511	△1,527
投資その他の資産合計	4,810	3,543
固定資産合計	42,152	42,637
繰延資産	33	65
資産合計	60,590	62,140

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,047	7,698
短期借入金	9,460	10,666
1年内償還予定の社債	475	585
リース債務	62	66
未払法人税等	159	126
未払消費税等	21	77
賞与引当金	388	201
役員賞与引当金	47	29
繰延税金負債	0	—
その他	3,688	2,533
流動負債合計	21,353	21,986
固定負債		
社債	1,125	1,552
長期借入金	10,360	11,682
リース債務	194	160
退職給付引当金	1,707	1,700
役員退職慰労引当金	322	374
長期末払金	1,973	1,784
再評価に係る繰延税金負債	5,454	4,773
繰延税金負債	675	371
資産除去債務	5	5
その他	1,775	241
固定負債合計	23,594	22,646
負債合計	44,947	44,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	1,153	1,153
利益剰余金	3,337	4,778
自己株式	△224	△225
株主資本合計	7,765	9,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△158	△282
繰延ヘッジ損益	△4	△61
土地再評価差額金	7,656	8,348
為替換算調整勘定	△4	△98
その他の包括利益累計額合計	7,489	7,905
少数株主持分	387	396
純資産合計	15,642	17,508
負債純資産合計	60,590	62,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	29,014	29,941
売上原価	22,086	22,623
売上総利益	6,927	7,317
販売費及び一般管理費	4,971	5,410
営業利益	1,956	1,907
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	42	45
持分法による投資利益	100	232
その他	25	32
営業外収益合計	176	316
営業外費用		
支払利息	382	439
手形売却損	26	25
為替差損	31	27
開業費償却	—	34
その他	53	72
営業外費用合計	493	599
経常利益	1,639	1,623
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	37	0
会員権売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	15	—
特別利益合計	54	0
特別損失		
固定資産除却損	9	2
固定資産売却損	0	—
投資有価証券売却損	0	0
貸倒損失	1	—
投資損失引当金繰入額	—	11
役員退職慰労金	14	9
土地開発関連費用	131	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1	—
災害による損失	—	34
その他	—	4
特別損失合計	158	62
税金等調整前四半期純利益	1,535	1,561
法人税、住民税及び事業税	170	218
法人税等調整額	414	△212
法人税等合計	584	6
少数株主損益調整前四半期純利益	950	1,555
少数株主利益	18	27
四半期純利益	932	1,527

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	950	1,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△126	△160
繰延ヘッジ損益	△61	△74
土地再評価差額金	—	681
為替換算調整勘定	△7	△24
持分法適用会社に対する持分相当額	18	45
その他の包括利益合計	△177	468
四半期包括利益	773	2,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	770	2,014
少数株主に係る四半期包括利益	2	8

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

該当事項はありません。